

2025 年 9 月 20 日

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・論述・面接試験 合格体験記

受検番号N0. 03S1510173

氏名 S. T (神奈川県在住)

■2級技能士を目指したきっかけ

仕事で企業向けの組織開発などのコンサルティングサービスを提供しており、個人のキャリア支援にも幅を広げるために2024年11月の試験で国家資格キャリアコンサルタント資格を取得。その後、2級技能士もあることを知り、更に上を目指すために2025年6月の2級にチャレンジし、合格することができました。

■当初の勉強法

仕事に加え0歳と1歳の2名の子育てをしながらの受験だったため、できるだけ効率よく学習するために「1 級キャリアコンサルティング技能士の会」をフル活用致しました。

■学科

学科は2つの対策で合格することができました。

1つ目は普通ですが日々の学習です。学科はあまり時間が取れなかったため、国キャリア受験時に自分でまとめたノートを元に1日5分～10分程の学習を1ヵ月程繰り返し、基礎知識を身につけました。

2つ目は試験1週間前から過去問と「第34回 2級キャリアコンサルティング学科試験 学科試験対応直前予想問題による在宅模試」を実施し、間違えた部分を繰り返し復習し、試験対策を行いました。過去問は答えがわかっても、問題によってはなぜ合っているのか、間違っているのかがわからずに少し違うテイストで出題されると再現性が図れないことが課題でした。それと比べると当会の在宅模試はしっかりとした解説が記載されているため、なぜ合っているのか、なぜ間違っているのかが理解でき、本試験でも得点のベースアップに繋がりました。

■合格のきっかけ

合格の要因は学習や練習の質の担保と仲間の存在です。

上記でも述べましたが、仕事と子育てをしながらだったため、学科・論述・面接の学習や練習時間の確保に苦労しました。

質の担保についてはなるべく時間をかけずに効率的に行う必要がありましたので、「1 級キャリアコンサルティング技能士の会」の存在は大きかったです。学科・論述・面接と数多くの合格者を出している実績から、ポイントを押さえて学べるのが時間の確保が難しい私にとっては一番の魅力でした。そして、一緒に2級を目指した仲間の存在も大きな要因でした。特に面接は練習相手が必要となり、キャリアコンサルティングの知識のない、本当の相談者では試験対策として、どこが良くてどこが悪いのか判断が付きません。例えば、関係構築があまりうまくできていないのに、深い話をしてくれたり、あまり良くない目標設定や方策なのに同意してしまったりと相談者役の質の担保は練習の質の担保においても重要です。

■ 論述試験対策

論述は3つの対策で合格することができました。

1つ目は「1 級キャリアコンサルティング技能士の会」の「2025年 2級 第34回試験 対応これで合格オンラインクイックゼミ」です。このクイックゼミでは面接対策でもかなり有効なゼミでしたが、論述の基本を押さえる上でも有効なゼミでした。当会の田中先生は論述対策において、この方に習っておけば、ほぼ合格するというほど多くの論述合格者を出している先生です。その実績通り、具体的に1問目ではこのような観点を押さえておけば合格圏に到達できると具体的な対策を教えてくださいました。そのため、論述対策においてはかなり効率化でき、時短になったと考えています。

2つ目は「1 級キャリアコンサルティング技能士の会」の「2級実技試験(論述・面接) 合格バイブルⅡ」です。これは面接対策として購入したものでしたが、クイックゼミで田中先生から教えてもらったことに加えて、サポートツールとして役立ちました。

3つ目は「1 級キャリアコンサルティング技能士の会」の「2025年度 前期(第34回)対応 2級論述試験 添削指導個別レッスン(在宅)」です。これは実際に赤ペン先生のような2ケースの個別添削指導があり、他2ケースの解答例を含んだ合計4ケースの内容で、論述試験の最終的な模試として利用しました。学科と同様ですが、過去問を解いても特に解答がないため、「これで合っているのか？何点くらいになるのか？」と疑問が湧くばかりです。それに比べて赤ペン先生のような個別添削指導や解答例がある添削指導個別レッスンは具体的に合格圏内の解答になっているのか、どのようなことを記述すべきのかなど解答例と比較することで、自身の良い部分と悪い部分が理解できるため、時短をしながら効率的に合格圏内の解答へ近づけたと感じています。

■ 面接試験対策

面接についても3つの対策で合格することができました。

1つ目は「1 級キャリアコンサルティング技能士の会」の「2025年 2級 第34回試験 対応これで合格オンラインクイックゼミ」です。クイックゼミは計7回の内、6回が主に面接対策となっており、2級の面接対策の基本を押さえるためには時間とお金の投資対効果には最適でした。

評価区分や試験のケース対策の講義はもちろんのこと、4回のロールプレイングで普段1級を教えている豪華な先生陣が相談者役になってくれたり、試験管役になったりと基本を押さえる上ではかなり役立ちました。

2つ目は「1 級キャリアコンサルティング技能士の会」の「2級実技試験(論述・面接) 合格バイブルⅡ」です。面接対策においてはじっくりとケース対策を行うことも必要です。そこで役立ったのがこの合格バイブルで、書籍に加えてDVDも入っています。書籍には逐語記録形式の「傾聴が足りない残念なケース」など失敗例と「自己

理解不足と見立てたケース」などの成功例が何パターンか載っており、このような流れの時にはこのような返しが有効だと静止画として、じっくり考えながらケース対策を行うことができ、面接力のベースアップに有効でした。

3つ目は2級を目指す仲間内での自主練習会です。面接対策においては実技練習が欠かせません。仕事と子育てであまり時間がとれなかったこともあり、実技試験の約1カ月前から練習を行っていました。ただ練習会の初めの方は受講生同士で練習を行っていたこともあり、練習の質が担保できませんでした。具体的な例えとしては相談者役の質次第で簡単に評価項目の4つの目の具体的展開に重要な目標設定や方策などが容易に同意を得られてしまうなどです。本試験の相談者役は有資格者のため、役作りができた方です。

そのような役作りがしっかりとできた相談者役は前半のカウンセリングフェーズの関係構築ができていないと、後半のコンサルティングフェーズで活用できる情報を出してくれませんので、有効なコンサルティングができずに、目標設定で同意が得られない、あるいは目標設定にすらたどり着けずに終わってしまうケースも多いです。

練習の質の担保には2級以上の有資格者や評価区分の内容に詳しい方の存在が必須です。その点においては練習仲間が全員クイックゼミを受講していたこともあり、途中から評価区分の理解が向上し、先生陣からそれぞれがアドバイスをもらって技術が向上してきたことで練習の質の担保ができ、私自身、合格圏内の技術の向上に繋がったと考えています。

■受検される方へメッセージ

2級受験者の方には私のように仕事や家庭に追われながら受検される方もいらっしゃると思います。私は「知恵借り十両」でなんとか合格したと考えています。2級キャリアコンサルティング技能士試験は合格率からしても独学で合格できるほど甘い資格試験ではありません。時間が無限にあるような人は別として、受験者のほとんどの方は限りある時間の中で試験対策をしなければならないと思いますので、独学で遠回りしては合格が遠のくばかりです。

私は幸い、国キャリアも2級も1回の受験で合格できましたが、恐らく合格者の中では学習時間も練習時間も最下層だと思うくらいの時間しか費やしていません。(費やせませんでした。。。)試験対策としてはその試験に精通している方の力を借りるのが一番時短になり、効率的です。

私はその精通者に「1 級キャリアコンサルティング技能士の会」を選択して、2級に合格することができました。受験者の皆さんも是非ご自身が信頼できる精通者を選択し、「知恵借り十両」で効率的に合格することを祈っております。長文お読みいただきありがとうございました。